

報道機関 各位

熊本大学

先進軽金属材料国際研究機構（ILM）の 共同利用・共同研究拠点の新規認定について

このたび、熊本大学と富山大学で編成する先進軽金属材料国際研究機構（ILM）が、令和4年度からの共同利用・共同研究拠点として、新たに文部科学大臣の認定を受けました。今後は、文部科学省の支援を得ながら、全国の軽金属材料研究者の研究拠点となるよう努力して参ります。

- | | |
|---------|------------------|
| 1.研究施設名 | 先進軽金属材料国際研究機構 |
| 2.拠点名 | 軽金属材料共同研究拠点 |
| 3.認定年度 | 令和4年度～令和9年度（6年間） |

なお、今回、「令和4年度からの共同利用・共同研究拠点（国立大学が中核の拠点）」として認定された拠点は、5つの新規認定を含めて78拠点となります。

熊本大学では、再認定された「発生医学研究所」と新規認定された「先進軽金属材料国際研究機構」の2つが拠点認定されており、2つ以上の拠点を持つ大学は、全国で16大学のみです。また、「先進軽金属材料国際研究機構」の拠点認定は、本学の自然科学系分野では初めてとなります。

文部科学省の発表はこちらをご覧ください。

URL https://www.mext.go.jp/a_menu/kyoten/1409443_00002.htm

【お問い合わせ先】

先進軽金属材料国際研究機構

機構長（熊本大学先進マグネシウム国際研究センター長） 河村能人

電話：096-342-3721

e-mail：rivervil@gpo.kumamoto-u.ac.jp

＜共同利用・共同研究拠点について＞

従来、国立大学の附置研究所等により「全国共同利用」制度が実施されてきましたが、学術研究の更なる発展のため、国公私立大学を問わず大学の研究ポテンシャルを活用し、研究者が共同で研究を行う体制を整備することが重要とされ、平成20年7月に学校教育法施行規則の改正を経て、文部科学大臣により、国立大学のみならず公立大学や私立大学も対象にした「共同利用・共同研究拠点」の認定制度が設けられました。今回、国立大学の「共同利用・共同研究拠点」の見直しが行われ、「令和4年度からの共同利用・共同研究拠点（国立大学が中核の拠点）」として72拠点が、国際型6拠点を含めると78拠点が認定されました。

＜ILMについて＞

我が国では、軽金属材料を総合的に取り扱う共同研究拠点が早急に必要とされており、令和3年4月に、熊本大学の「先進マグネシウム国際研究センター（MRC）及び富山大学の「先進アルミニウム国際研究センター（ARC）の連携により、「先進軽金属材料国際研究機構（ILM）」を設置しました。

＜今後の展開＞

ILMでは、マグネシウムとアルミニウムの研究強化に加え、日本初のチタン研究の育成を図り、国内外の軽金属研究者が集う世界に伍する研究拠点の構築を進めて参ります。既に、全国の軽金属材料研究者に「ILM共同利用・共同研究助成プログラム」の募集を行い、設備の共同利用、軽金属試料の提供、軽金属試料の受託分析等による共同研究を進めています。さらに、新たに取り組むチタン研究用の設備を整備して、共同利用に供していく予定です。

○令和3年度に約2.3億円分の設備導入

「チタン用モノづくり・分析評価システム」